

結果票の見方

旭川市福祉保険部国民健康保険課

検査項目		基準値			この検査でわかること	疑われる病気	
		異常なし	要指導	要医療		高	低
体格	BMI	18.5~24.9	18.4以下 25.0以上		体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出し、肥満度を判定します。	高	肥満
						低	やせ
血圧	収縮期血圧 mmHg	~129	130~139	140~	血圧が高いと動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳卒中などの危険性が高まる。	高血圧症 動脈硬化	
	拡張期血圧 mmHg	~84	85~89	90~			
血中脂質	中性脂肪 mg/dl	~149	150~299	300~	増えすぎると肥満や脂肪肝の原因になり、動脈硬化を進行させる。	脂質異常症 動脈硬化	
	HDLコレステロール mg/dl	40~	35~39	~34	善玉コレステロールとも言われ、余分なコレステロールを回収し、動脈硬化を防ぐ。少ないと動脈硬化が進行する。		
	LDLコレステロール mg/dl	~119	120~139	140~	悪玉コレステロールとも言われ、増えすぎると血管の内側にたまり、動脈硬化を進行させる。		
血糖	空腹時血糖 mg/dl	~99	100~125	126~	血液中のブドウ糖のことで、増えすぎると糖尿病が疑われる。	糖尿病	
	HbA1c (A1c) % (ヘムoglobin A1c)	~5.5	5.6~6.4	6.5~	過去1~2か月の平均的な血糖の状態を調べる検査。糖尿病が疑われたときの検査として有効。		
腎機能	血清クレアチニン mg/dl	/			たんぱく質代謝の結果生じた老廃物で、腎機能を調べる。	腎臓病	
	eGFR (推算糸球体濾過量)	60~	45~59.9	~44.9	クレアチニンより精度の高い腎機能の指標で、クレアチニン値を性別、年齢で補正して算出。		
肝機能	AST(GOT) U/l	~30	31~50	51~	肝機能をチェックする代表的な検査。肝臓に障害が起こると上昇する。	急性肝炎 慢性肝炎 脂肪肝 アルコール性肝炎	
	ALT(GPT) U/l	~30	31~50	51~			
	γ-GT (γ-GTP) U/l	~50	51~100	101~	肝臓や胆道に障害が起こると上昇する。特にアルコール性の肝機能障害で増加する。		
代謝系	血清尿酸 mg/dl	2.1~7.0	7.1~7.9	~2.0 8.0~	プリン体代謝の結果生じた老廃物で、尿酸の産出が多くなったり、排出が低下すると痛風発作の原因となる。	高尿酸血症 (痛風) 動脈硬化	
尿検査	尿糖	—	±	十~	尿の中に糖が含まれているかを調べる。	糖尿病	
	尿蛋白	—	±	十~	尿の中にたんぱく質が含まれているかを調べ、腎臓機能の異常を見つける。	腎臓病	
	尿潜血	—	±	十~	尿中に赤血球が出ているかを調べ、腎臓や尿道、膀胱などの異常を見つける。		